



ムトス飯田

# 市民活動表彰 第39回ムトス飯田賞

ムトス飯田推進委員会（会長 飯田市長）は、このたびムトス飯田賞実施要綱に基づき、第39回ムトス飯田賞受賞者を決定しました。

ムトス飯田賞は、一人ひとりの自発的な行動を表す言葉「ムトス（～せむとす）」の精神を広めるために、一市民の寄付を契機に、昭和60年に創設されました。

団体や個人の功績を称え、受賞者の生き生きと活動する姿が、市民の秘めたムトス精神に働きかけ、市民活動や協働がより一層広がることを目的に、表彰しています。

## 受賞団体の紹介

### 里山に自生する山野草の保護・育成を通して輪を広げる

梅ヶ久保自然愛護会

地区内の多くの団体と連携し、伊賀良地区大瀬木 梅ヶ久保でカタクリ自生地や観賞のための遊歩道の整備に尽力されています。

他にも、ササユリや紅葉の手入れなど、年間を通じて「自然に手を加えるのではなく、今ある自然を活かす」ことを理念として里山を整備し、平成12年に地元有志の会から始まった活動は現在24年目を迎えます。今回はその「ムトス性」「持続性」「波及性」や協働の広がりが評価されました。

### 高校生×伝統工芸の輪で 飯田に賑わいを創ろう！

<若者賞>  
いいらぼ

地元の水引事業者の閉業や水引産業の停滞など、高校生2人が探求学習の中で感じた課題意識から始まった活動。同世代の協力者を瞬く間に増やし、現在は40人規模で精力的にワークショップや水引商店との連携に取り組んでいます。周りに対しても「小さなワクワクからまずは行動してみしてほしい」という強い思いのもと、「学生と地域がつながる」ことで生まれる可能性を自ら切り開いています。

今回はその「ムトス性」「波及性」が評価されました。

### （表彰の基準）

市民の皆さんから自薦他薦による「一般公募」を行い、応募7件について、慎重に審議いたしました。

1. 「まさに…しようとする」という前向きな意志を持ち、意欲的な活動を継続して行っていること。  
または、活動に顕著な適時性があること。
2. 他の団体や個人の活動に対して良好な影響を与え、波及性があること。
3. 地域社会への貢献が認められ、地域づくりに進んで参加するなど協働の精神が認められること。



## 第39回ムトス飯田賞 受賞団体



# うめがくほ 梅ヶ久保自然愛護会

～ 里山に自生する山野草の保護・育成を通して輪を広げる ～

### 【活動を始めたきっかけ】

愛護会が結成される以前の1998年～2000年に掛けて、国の補助事業で「森林空間整備、妙琴公園～飯田高原 7.9km・120ha」に補助金1.6億円が交付され完了しました。それを機会に、2000年4月に地元有志24名による「梅ヶ久保自然保存会」を立ち上げました。

後に「梅ヶ久保自然愛護会」と改名し、現在の会員数は58名です。

### 【活動内容と、これまでの様子】

- ・カタクリ自生地の遊歩道整備と木道設置.....2005年開始 ～ 2010年完成
- ・木道延伸工事とベンチを新設.....2018年
- ・長野県のご協力によりササユリ保護の看板を設置.....2019年
- ・会員向けの「愛護会だより」を年2回発行
- ・長野県主催のセミナー出席



完成間近 2018年



保護看板設置 2019年

主には、2007年より毎年4月に行われています「かたくり祭」の会場である広大な自生地の下草刈りを、年2回(6月・10月)実施しています。草丈も腰高ままでになり、会員だけでは負担が大きいため、大瀬木区の各種団体に声掛けを行い、ご協力をいただいております。開花面積も年々増えており、かたくり開花時期には多くの方がお見えになります。来場者の安全を図るため、遊歩道と木道の整備に務めております。

### 【かたくりの里】

所在地：飯田市 大瀬木 梅ヶ久保 (標高:約750m)

群生地面積：約1ヘクタール(10,000㎡)

かたくり株数：約50,000株



**丘陵地のため陽当たり時間の差により 開花期間が3週間ほどになります**

また、ササユリの保護(長野県指定希少野生動植物)もしておりますが、2018 年頃より梅ヶ久保公園内の開花直前のササユリが、猿による食害に合い開花数が極端に減少しております。面積も広い公園、網掛けによる保護にも工数と費用に限界が有り大変苦慮しております。



**6月4日～8日、網で囲う作業にも限界が！**



**6月10日 開花直前を狙って**



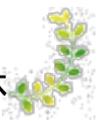
**食害に合わなかったササユリ**

**6月16日**

**【活動を振り返って感じること】**

保全活動が主目的でハード面のみでしたが、次年度はソフト面にも力を入れていきたい。「カタクリの里」の開花状況、祭りの詳細等の情報を、会と伊賀良自治振興センターとで共有し両者で仕組みづくりをして、さらなる来訪者増強に努めたい。飯伊の観光局、メディア等にもその向きを早期に提案して受け入れ体制お願いし、足並みを揃えていきたいと考えます。

代表者	三村 弘三	設立	平成 12 年	問合せ先	070-4442-7077 (ムトス飯田推進委員会事務局)
活動日	不定期	活動場所	梅ヶ久保公園周辺	活動エリア	大瀬木地区
会員数	58 名 (協力者 20 名)	会員募集	なし	会費	1,000 円/年
HP・SNS	なし				



## いいらぼ

～高校生×伝統工芸の輪で飯田に賑わいを創ろう！～

Q. 活動を始めたきっかけは？

### 水引ふるさと工芸館の廃業と新しい分野開拓

小学生の時に社会見学で行った、水引の作品展示をしている「水引ふるさと工芸館」に探究の時間に訪れた際に、そこが廃業していることを知り、水引産業が衰退することへの強い課題意識を感じました。その一方で水引業界全体で「新しい分野開拓」に取り組んでいることを知り、水引の色鮮やかさや、デザイン性の高さ、何より「思いを形にできる」水引に魅了され、活動を始めました。



Q. どんな活動をしているの？

#### 【定例活動】

- SNSにて水引の魅力&いいらぼの発信
- 飯田市内外で開かれるイベントで水引の商品販売やワークショップ
- 学生スタッフへの水引のプレワークショップ
- 水引商品の作成
- 地域コミュニティに参加



#### 【その他の活動】

小中学校にて、水引のワークショップを行ったり、松本市にて独自で水引のワークショップを中心としたイベントの開催や、水引マップの作成、県外の物産展への出展、地域の企業さんと共同で飯田水引 SDGs バッジの制作など、水引を軸に地域・学生と協力し、幅広く活動を行っています。今年度は、累計295人の方に水引のワークショップを行いました。



Q. どんなメンバーで行っているの？

### 飯田下伊那の高校生

飯田高校2年の宮下あかり、村澤春風の2人でいいらぼを立ち上げ、現在では飯田高校生を中心とした約40人の学生が、一緒に活動してくれています。通信学校に通っている子や、中学生も参加してくれたりしていて、活動の幅を広げていきたい!と思っています。現在、いいらぼや飯田を共に盛り上げてくれる学生を募集中なので、お気軽にご相談ください!



## 〇活動を振り返って

私たちは、実際に足を運ぶこと、実践することを大切にしました。それは、自分の目と耳と手で感じることで、知りたかったこと以外の情報、「裏の泥臭さ」や「苦悩、思いの強さ」を知ることができるからです。そんな私たちがこの一年、活動する中でこれからも大切にしたい2つの学びがありました。

### ①好きに素直に「行動したもん勝ち」

私たちが初めから、高い志を持ち、行動できていたわけではありませんでした。初めの小さな誘いにワクワクした気持ちそのままにイベントに参加したこと、探究の世界が広がり、活動の輪が広がっていきました。なので、最初は大きな志とか、強い想を持っていなくても大丈夫だと思います。きっかけは意外と近くにあって、想いはだんだん強くなるものだと実感しました。私たちは、行動したからこそ、たくさん悩み、たくさん出会い、たくさんワクワクしました。なので、もし何か心が動く何かがあれば、その小さなきっかけを掴んで、好きに素直に、行動してみてほしいと思います！



### ②原動力は「出会い」

2つの出会いが私たちから見える世界を変えてくれて、今の原動力になっています。

一つ目の出会いは、同世代の高校生との出会いです。同世代でも、自分の創りたい未来に向かって挑戦している高校生がいることを知り、まだ何もアクションを起こしていない自分たちに劣等感と、悔しく感じると同時に、そういった人への「憧れ」や「楽しそう」という思いで一步を踏み出し、その一步から、自分にもできる！という自信につながりました。

二つ目の出会いは、地域の人との出会いです。

水引のワークショップをする中で、生まれた場所も育った環境も違う他人なのに「水引」の魅力に気づいて、「可愛い!」「綺麗!」と共感している瞬間がとても不思議で、楽しい!と思うようになりました。また、地域の人から地域を盛り上げようとする熱量に触れ、私たち学生の声も対等に聞いて、協力してくださる地域の皆さんと出会い、学生と地域の人が交わって地域を創造することにワクワクしました。



なのでこれからも、地域の方達と共に、好きに素直に挑戦し続けたいと思っています！そして、その挑戦がまた誰かの行動する一步につながるとういきたいと思います。

代表者	宮下 あかり	設立	2023 (令和5) 年	問合せ先	ムトス飯田推進委員会事務局 (070-4442-7077)
活動日	不定期	活動場所	飯田高校や 丘の上結いスクエアなど	活動エリア	飯田市内外
会員数	4名 (協力者40名)	会員募集	あり(いいらぼや飯田と一緒に 盛り上げてくれる仲間を募集中 です!)	会費	なし
HP・SNS	Instagram : iida_mizuhiki_labu_official				